

令和元年第5回市議会定例会が開催されるに当たり、市政に対する所信の一端を申し述べますとともに、市政の諸課題をはじめ提案いたしました議案について、その概要を御説明申し上げます。

まず初めに、去る7月21日に執行された第25回参議院議員通常選挙の福井県選挙区において、滝波宏文先生が再選を果たされました。心からお祝いを申し上げますとともに、更なる国政での御活躍と本県及び本市発展のため、特段の御尽力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、先月16日に開催を予定しておりました、第70回とうろう流しと大花火大会につきましては、台風10号の接近に伴う荒天により、準備ができなかったことから、花火大会が中止となりました。

敦賀の花火を心待ちにしていた大勢の方々には誠に申し訳なく、非常に残念ではありますが、来年は天候に恵まれ、とうろう流しと大花火大会が盛大に行われることで、まちに賑わいと活気が満ちあふれることを祈るものであります。

一方、この夏の第101回全国高等学校野球選手権大会に、敦賀気比高等学校が出場しました。強豪校との大接戦の末、惜しくも3回戦敗退となりましたが、その猛打と堅い守りは市民を熱狂させるとともに、多くの

人々に夢と感動を与えてくれました。ここにその健闘をたたえ、今後の更なる活躍を期待します。

次に、当面する市政の重要課題について申し上げます。

まず、市庁舎整備について申し上げます。

新庁舎整備に係る建築工事の発注につきましては、先月23日に開札し、2つの特定建設工事共同企業体が参加しましたが、不調となりました。要件を見直し、現在、2回目の公告を行っており、今議会会期中に契約締結に係る議案を提出できるよう対応しているところです。

また、今回の補正予算に自立型水素エネルギー供給システムの導入に必要な経費を、2箇年の継続事業として計上いたしました。

全体の進捗状況につきましては、立体駐車場は当初予定より遅れながらも鉄骨の組み上げが完了し、現在は、主に床面のコンクリート打設工事が進んでおり、11月末に工事が完了する見込みです。

さらに、庁舎北側正面玄関を閉鎖し、給排水、電気及び通信の引込み線の切り替え作業を行っております。

来月下旬からは、庁舎本体の建設工事に着手する予定であり、現来庁者駐車場が使用できなくなることから、11月末竣工の立体駐車場に加え、

道路を挟んだ敷地南側の職員駐車場を来庁者駐車場に振り替えて対応することとし、併せて交通誘導員を配置するための経費を今回の補正予算に計上いたしました。

新庁舎整備に際しましては、安全確保や周辺環境に十分配慮し、着実に工事を進めてまいりますので、市民の皆様をはじめ議員各位の御理解、御協力を引き続きお願いいたします。

次に、原子力行政について申し上げます。

去る7月31日に、県内立地4市町の首長、議長で構成する立地協におきまして、安倍内閣総理大臣との面談が実現いたしました。廃炉や運転延長、新增設・リプレース、バックエンド対策など様々な課題を抱えていることを踏まえ、次期エネルギー基本計画においては、原子力政策の具体的な方向性を示すよう、立地協として求めてまいりました。これに対し安倍総理からは、原子力発電の重要性は認識しており国内のエネルギー供給を支えている立地地域には感謝していると述べられるとともに、原子力政策への思いは承ったとの言葉がありました。

また、先月6日には全原協の今年度の要請として、役員の皆様とともに原田環境大臣をはじめ関係省庁の副大臣や大臣政務官と面談し、原子力を

取り巻く様々な課題に対する国の責任ある取組を強く求めてまいりました。

今後も、全原協や立地協など全国の立地市町村と連携し、将来に向けた原子力政策の明確な道筋を示すよう、国に対し求めてまいります。

次に、防災対策について申し上げます。

原子力防災につきましては、先月30日、31日の両日、関西電力美浜発電所から半径30キロ圏内の市町を対象に福井県原子力総合防災訓練が実施されました。

本市では、原子力災害対策本部・現地災害対策本部運営訓練を行うとともに、住民への情報伝達訓練、陸・海・空による多様な輸送手段の検証及びバス車両等による福井市への広域避難訓練を実施したところです。

今回の訓練を通して得た知見や課題を参考に、万が一の原子力災害に備え、敦賀市避難対応マニュアルの見直しを行うとともに、実効性の高い避難方法を確立してまいります。

一方、一般防災につきましては、台風及び前線等の影響に伴う集中豪雨により、西日本を中心に河川の氾濫や土砂崩れによる甚大な被害が発生しております。台風シーズンも本番を迎え、本市といたしましても、人命の保護を第一義に考え、日頃からの情報収集や有事の際の的確な避難勧告の

発令等を行ってまいりますので、市民の皆様におかれましても、日頃から非常用持出し品の準備や避難場所の確認等を行い、気象情報や防災情報に注意を払うことで、早め早めの対応を心がけていただきますようお願い申し上げます。

次に、交通安全対策、防犯対策について申し上げます。

昨年、市内における交通事故が大幅に増加し、今年も同程度で推移しており、また、全国的にも子どもが巻き添えになる交通事故や凶悪犯罪が多く発生しています。そこで、命の尊さや他者の痛みを理解することを伝え、交通事故や凶悪犯罪の防止、啓発を行う「生命のメッセージ展」の開催に係る経費を今回の補正予算に計上いたしました。

市民の皆様が安全で安心して暮らせるまちの実現に向け、関係機関と連携を図りながら、積極的に取り組んでまいります。

次に、障害者福祉について申し上げます。

社会福祉法人敦賀市社会福祉事業団において、新たな生活介護サービス事業所の開設準備が進められています。この施設は、本市の障害者福祉の向上に繋がることから、今回の補正予算において、施設建設費に対する補助金を計上いたしました。

障害者の方々が、住み慣れた地域で、安心して良質なサービスを受けられるよう、施策の充実に取り組んでまいります。

次に、農業振興について申し上げます。

中山間地域は農業生産の場としてだけでなく、洪水や土砂崩壊の防止、棚田の美しい景観など重要な機能を有しておりますが、担い手不足等による耕作放棄地の増加など、農地の保全が大きな課題となっています。

このため、本市において生産条件の不利な中山間地域における集落の水田営農の維持を図ることを目的に、認定農業者に対して田植機等の農業機械導入の支援を、さらに、集落住民が行う棚田保全の共同作業に要する資機材購入に対して支援を行うこととし、今回の補正予算に関係経費を計上いたしました。

次に、経済対策について申し上げます。

本年10月の消費税率引上げに伴い、国が来年度にマイナンバーカードを活用した消費活性化策の実施を予定していることから、当該事業の準備業務を行うために必要な経費を今回の補正予算に計上いたしました。

市民の皆様、事業者の方々への周知に取り組むとともに、商工会議所等関係機関との連携により、地域経済の活性化を図ってまいります。

次に、敦賀港開港120周年記念事業について申し上げます。

去る7月14日、15日の両日にわたり、海上自衛隊最大のヘリコプター搭載型護衛艦「かが」が敦賀港に寄港し、一般公開が行われました。

「かが」の一般公開は、母港の呉基地以外では金沢港、大阪港に続き3港目となり、2日間で市内外から2万3千人を超える方々が来場され、最新鋭の艦内を見学されるとともに、開港120周年を迎え、歴史ある敦賀港周辺に広がる敦賀の魅力を満喫いただけたものと考えております。

また、同月25日及び26日には、港湾を抱える全国146都市で構成する港湾都市協議会の総会が、プラザ萬象を主会場に開催されました。

総会では、今年度の運営方針などの審議や港湾行政の動向などの基調講演が行われたほか、敦賀港をはじめ、人道の港敦賀ミュージアムや赤レンガ倉庫などを視察いただきました。

開港120周年の記念すべき年の総会開催を契機とし、一層の敦賀港の振興に取り組んでまいります。

さらに、今月1日から恒例の敦賀まつりが開催され、大正浪漫をテーマとしたレトロ衣装パレードを行うとともに、大正浪漫ショップ、ミニSL運行乗車体験や人力車乗車体験コーナーを設置したところ、大勢の市民の

皆様、観光客の皆様に参加いただき、大いに盛り上がりました。

あいにくの空模様となり、民謡踊りの夕べは中止となりましたが、各種伝承行事やお祭り広場、イベント広場、カーニバル大行進等が華やかに繰り広げられました。

ここに御参加いただいた市民の皆様や御協力、御尽力いただきました関係各位に厚く御礼申し上げます。

なお、敦賀港開港120周年記念事業に関しましては、年末にかけて、敦賀国際文化交流フェスティバルやオペラ「人道の桜」の公演などイベントが目白押しとなっており、今後、本市を訪れる多くの皆様に、敦賀港の歴史や文化、そして現在の新たな発展の息吹を感じていただけるよう、関係機関と連携しながら、取り組んでまいります。

次に、金ヶ崎周辺整備について申し上げます。

金ヶ崎周辺施設整備基本計画に基づく民間活力の導入による飲食・物販機能の創出に向けたサウンディング調査や金ヶ崎周辺施設のエリアマネジメント方策の検討等につきましては、去る7月31日に国土交通省の先導的官民連携支援事業に採択されました。

今後は民間事業者の募集・選定に向けた調査を進め、このエリアが北陸

新幹線敦賀開業の受け皿として、「鉄道と港のまち敦賀」にふさわしい観光拠点となるようスピード感をもって取り組んでまいります。

次に、国道8号道路空間整備について申し上げます。

国道8号本町区間の道路空間整備につきましては、国による2車線化工事が間もなく開始されることから、「国道8号敦賀空間再整備着工式」を国、県、市の共催で今月8日に開催いたします。式典を通じ、今後の順調な工事進捗を祈念するとともに、新たな敦賀の顔となる道路空間を最大限に活用できるよう、地元や各種団体の機運を醸成してまいりたいと考えております。

工事期間中は、沿線商店街をはじめ、市民の皆様に御不便をお掛けすることとなりますが、御理解と御協力をお願いいたします。

また、先月末には銀河鉄道999モニュメント10体の本町第3公園への移設が完了しており、現在、SLと一体となった姿をお楽しみいただけますので、引き続き市内外の方々に御来場いただけるよう、情報発信に努めてまいります。

新ムゼウム整備事業について申し上げます。

先月8日、有識者や市民で構成する新ムゼウム利活用等検討委員会から、

3箇月半にわたる活発な議論に基づく中間報告をいただきました。

その内容につきましては、ムゼウムの来館者増加や満足度向上によるリピーター確保に向け、経費のみならず営業体制の確保や団体客等への対応の観点から、指定管理者方式が望ましく、一方で、選定に当たっては、人道の港のエピソードを保存できる体制の整備、職員配置見直しによる経費節減、金ヶ崎周辺エリア全体で収入を得る仕組みの構築に向けた調査・検討といった点に配慮が必要というものでありました。これを受け、経費節減等について検討した上で、今議会に人道の港敦賀ムゼウムの設置及び管理に関する条例を提出するとともに、指定管理者選定委員会に係る所要額を補正予算に計上いたしました。

また、庁内のプロジェクトチームを中心に検討を進めている屋外展示物整備のうち、ムゼウムを起点とした案内サインにつきましては、金ヶ崎周辺と中心市街地の回遊性向上を図るため、当初の予定どおり整備しますが、モニュメントにつきましては、整備箇所がサウンディング調査を行う民間活力導入エリアと重複するため、整備の有無を含め、改めて検討させていただきたいと考えております。

次に、東京オリンピック・パラリンピックを通じた交流事業について申

上げます。

来年7月から、我が国で実に56年ぶりとなる東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。また、来年は本市にとってポーランド孤児上陸から100年の節目となる年でもあります。

このまたとない機会を捉え、人的・文化的な国際交流をさらに推進するため、本市は同大会におけるポーランド共和国のホストタウンとしての登録を目指してまいります。

現在、相手国の意向等の調整を行っているところであり、年内の登録に向け、取り組んでまいります。

次に、北陸新幹線敦賀開業について申し上げます。

様々な分野にわたる取組の具体的な方針を定めた行動計画の推進につきまして、官民の連携を強化し、ソフト施策に取り組むため、中心的な役割を担う団体で構成するコアメンバー連絡会を、先月20日に立ち上げたところです。

今後は、新たな観光商品の企画や名産品開発、おもてなしの向上等について、重点的に取り組むとともに、開業効果を最大限に引き出すことができるよう、市全体の機運を高めてまいります。

駅西地区土地活用について申し上げます。

去る6月29日に供用開始しました駅前立体駐車場は、7月の平均で1日150台を超える御利用をいただき、順調な滑り出しとなりました。また、A・Bゾーンでは、地元を含めた飲食・物販店舗を中心に、民間事業者によるテナント誘致と全体レイアウトの検討が行われており、今後建設されるホテルや商業施設との相乗効果により、同エリアに賑わいが生まれるよう、官民が一体となって整備を進めてまいります。

一方、北陸新幹線敦賀開業に伴う並行在来線につきましては、先月13日、JR西日本から経営分離される北陸本線の県内区間を運営するための並行在来線準備会社が設立されました。杉本知事が取締役会長、元県新幹線・地域鉄道対策監の西村利光氏が代表取締役社長に就任され、県地域戦略部長と沿線7市町の首長及び民間出資企業が社外取締役に就任いたしました。今後、準備会社では、社員の募集・採用活動を行うとともに、鉄道事業許可申請に向けて事業内容や収支などの計画の準備を進めてまいります。

本市としましても、来年度の経営計画の策定に向け、通勤・通学時間帯の増便や快速列車の運行など収支改善を図るための利用促進策について、

関係機関と連携して検討を進めてまいります。

次に、道路網の整備について申し上げます。

国道8号敦賀防災事業につきましては、現在、田結・拳野間のルート及び構造など道路計画の概要が示され、詳細な構造物の設計協議等に係る地元説明会が順次開催されております。こうした中、去る7月29日の国道8号敦賀・南越前バイパス建設促進期成同盟会総会において、早期整備に向け要望を決議したところです。

国道161号につきましては、去る7月26日に国道161号改良整備促進期成同盟会として近畿地方整備局に、また、先月9日には財務省及び国土交通省本省に要望を行いました。

また、私が会長を務めております近畿国道協議会や福井県国道連絡会の総会等におきましても、関係自治体とともに直轄国道等の早期整備に係る要望を行っております。

住民の暮らしや安全を守る上で、重要な役割を果たす道路網の整備に向け、関係機関と力を合わせて要望活動を強力に実施してまいります。

一方、年内の完成が予定されております都市計画道路岡山松陵線は、市内の環状道路を形成する重要な路線であり、本市南部から国道27号をは

じめ市街地へのアクセスが向上し、交通渋滞が大幅に緩和されるものと期待しております。

また、敦賀半島の原子力災害制圧道路につきましても、県道竹波立石縄間線において、交通不能区間を解消する白木・浦底間の工事が順調に進捗しており、今年度中の供用開始を予定しております。

それぞれ、市民の念願であった道路の開通に当たり、記念式典を開催することとし、今回の補正予算に所要額を計上いたしました。

笙の川の整備について申し上げます。

去る7月には、来迎寺橋の橋桁撤去に伴う仮設歩道橋の設置が完了し、歩行者の横断が可能となり、近隣住民の皆様にご利用いただいております。

また、木の芽川合流から黒河川合流までの区間においては、堤防の補強を目的とした天端アスファルト舗装が進められ、河川の氾濫防止を目的とした河道内の樹木伐採等も予定されております。

今後も、新たな来迎寺橋の設置を含め、笙の川改修事業の早期完了に向けて、関係機関と連携して事業を推進してまいります。

次に、教育振興について申し上げます。

角鹿中学校区における小中一貫校「角鹿小中学校」の設置につきまして

は、校舎建設に先立ち、支障となる照明設備等外構施設の解体工事が完了し、現在、メインアリーナとして今後活用する角鹿中学校体育館の大規模改修工事に着手しています。

一方、先月 8 日に東浦小中学校校下区長会及び東浦小中学校 P T A から東浦小中学校について、小規模校の特色を生かしたきめ細かな教育を市内全域の児童生徒が受けることができる「小規模特認校制度」の導入に関する要望がありました。このことについて、敦賀市通学区域審議会に諮問したところ、今月 2 日に市内全域からの通学を了承する旨の答申をいただきました。

今後は、教育委員会及び総合教育会議で学校運営等の方針について議論を進めてまいります。

文化振興について申し上げます。

俳聖松尾芭蕉の奥の細道の旅から 330 年を記念し、去る 7 月 31 日に俳人夏井いつき氏をお招きし、句会ライブを開催したところ、大変多くの皆様に御参加いただき、大盛況のうちに終了することができました。

今月 13 日から博物館において開催する「おくのほそ道 330 年の旅」特別展や、21 日の芭蕉探訪ウォーク、来月 20 日の全国俳句大会の開催

などを通して、「杖措きの地・敦賀」を広くPRするとともに、俳句文化の振興を図ってまいります。

次に、敦賀市新水道ビジョンについて申し上げます。

平成21年3月に敦賀市水道ビジョンを策定し、水道整備を進めてまいりましたが、策定後10年が経過し水道を取り巻く環境は大きく変化いたしました。そのため、今般、新たに示された国の方針や現行の水道ビジョンの評価結果等を踏まえ、水道事業の現状と将来の見通しを分析評価した上で、目指すべき将来像を描き、その実施施策を示す「敦賀市新水道ビジョン」を策定いたしました。

これにより、老朽化する施設の更新や大規模地震に対応する耐震化等に関する実施計画を立て、将来にわたり安全で安定した水道水を市民の皆様へ供給し続けることができる水道事業運営を目指します。

また、新水道ビジョンや昨年度策定した下水道事業経営戦略を受け、本市の上下水道事業が健全な経営を持続できるよう、有識者や市民の皆様の御意見をいただき検討を行う「敦賀市上下水道事業経営検討委員会」を設置いたしました。

さて、今回提出いたしました補正予算案につきましては、国等の補助事

業の内示や、早急に対応が必要なものについて補正を行うものです。

その結果、補正予算の規模は、

一般会計	3, 183万円
特別会計	8, 113万 7千円
合計	1億 1, 296万 7千円 となり、

補正後の予算総額は、

一般会計	315億 8, 857万 9千円
特別会計	145億 4, 383万 9千円
企業会計	155億 1, 888万円
合計	616億 5, 129万 8千円 となりました。

なお、これらに伴う歳入は、国、県支出金、繰越金等確実に見込まれるものを計上し、収支の均衡を図りました。

また、予算案以外の案件及びその他の議案につきましては、それぞれ記載の理由に基づき提案いたしました。併せて、平成30年度各会計の決算認定についても提出しておりますので、御審議いただきますようお願い申し上げます。

次に、本市に寄せられました寄附金品につきましては、別紙お手元に配

布のとおりです。その御厚志に対し各位とともに、市民を代表して厚く御
礼を申し上げます。

以上、私の市政に対する所信の一端と今回提案いたしました予算案など
について御説明申し上げます。

何卒慎重に御審議をいただき、妥当なる議決を賜りますようお願い申し
上げます。